必ずお読み下さい

２４時間セントラル換気システム

DSDD-S

お客様用取扱説明書

電源

換気システム **DSDD-S** は、建築基準法に定められた 24 時間換気システムとして機能いたします。

建築基準法では、住環境のＶＯＣ濃度を安全な状態に維持管理するために、常時運転する事が義務付けられています。

電源はお切りにならないようお願い致します。

センサーコントローラ（換気コントローラ）

センサーコントローラ（換気コントローラ）は常時室内空気の清浄性を監視し、CO2、VOC（揮発性有機化合物）、その他の臭い成分等の濃度が増すと**自動的**に換気量を増やし、室内空気の清浄性を確保し、その後通常運転に戻ります。

※　普段の操作としての作業はございません。

※　大勢のお客様がいらっしゃるときや、焼肉などの臭いの多いお食事の時なども自動的に急速運転を開始し、その後自動的に通常運転に戻ります。

フィルター（ＮＷＦフィルター）

フィルターは、**６ヶ月に１度程度の点検と清掃**をして下さい。

このフィルターは水洗いができます。清掃・交換方法は裏面のフィルター交換マニュアルを御参照ください。フィルターの交換時期は、地域の空気環境により多少の差はありますが、3 年に 1 度の交換をお勧めしています。（地方により外気の状態によって使用年数は変わります。）

交換のお問い合わせは**建築会社**又は**オカトミ**へご連絡ください。

※　オカトミではフィルターのお掃除時期を半年に一度お知らせするサービスを実施しております。

サポート用メールアドレス「support@delite.jp」へご連絡下さい。件名を『メンテナンス登録』とし、本文に氏名と御住所をご記入の上ご送信下さい。「support@delite.jp」からのメールを受信できる様、ドメイン設定を解除していただくか、弊社ドメイン『delite.jp』を 受信リストに加えていただきますよう、お願い申し上げます。

室内排気口

室内にある排気口の上に物を置かないで下さい。

押入やクローゼット内部の排気口の上にはスノコなどを置いてご利用下さい。

排気口から異音が聞こえたら

電源を切り、販売店か建築会社へご連絡ください。送風機に異物やタールが付着した場合や、ベアリングの磨耗などによって異音が発生することがあります。 **DSDD-S** が停止中は代替処置として窓を開くか、レンジフードファンを運転してください。

⚠ **家の中で燃焼する器具をご使用する場合は必ず窓を開けてください。**

停電時は２時間に１度程度の目安で窓の開閉による換気を行って下さい。

製造元 有限会社 オカトミ 電話 048-523-1306　ＦＡＸ048-523-1301

okatomi

ｗｗｗ．ｄｅｌｉｔｅ．ｊｐ

ＴＥＬ０４８－５２３－１３０６

フィルターメンテナンスマニュアル

セントラル換気システム　『 DSDD-S 』の役割

換気装置『 **DSDD-S** 』の最大の役割は、居室内の空気を『**清浄な状態**』に保つことです。
お住まいになる方の健康と安全の維持のため、以下のことを実施くださるようお願い致します。

1.　フィルターメンテナンス

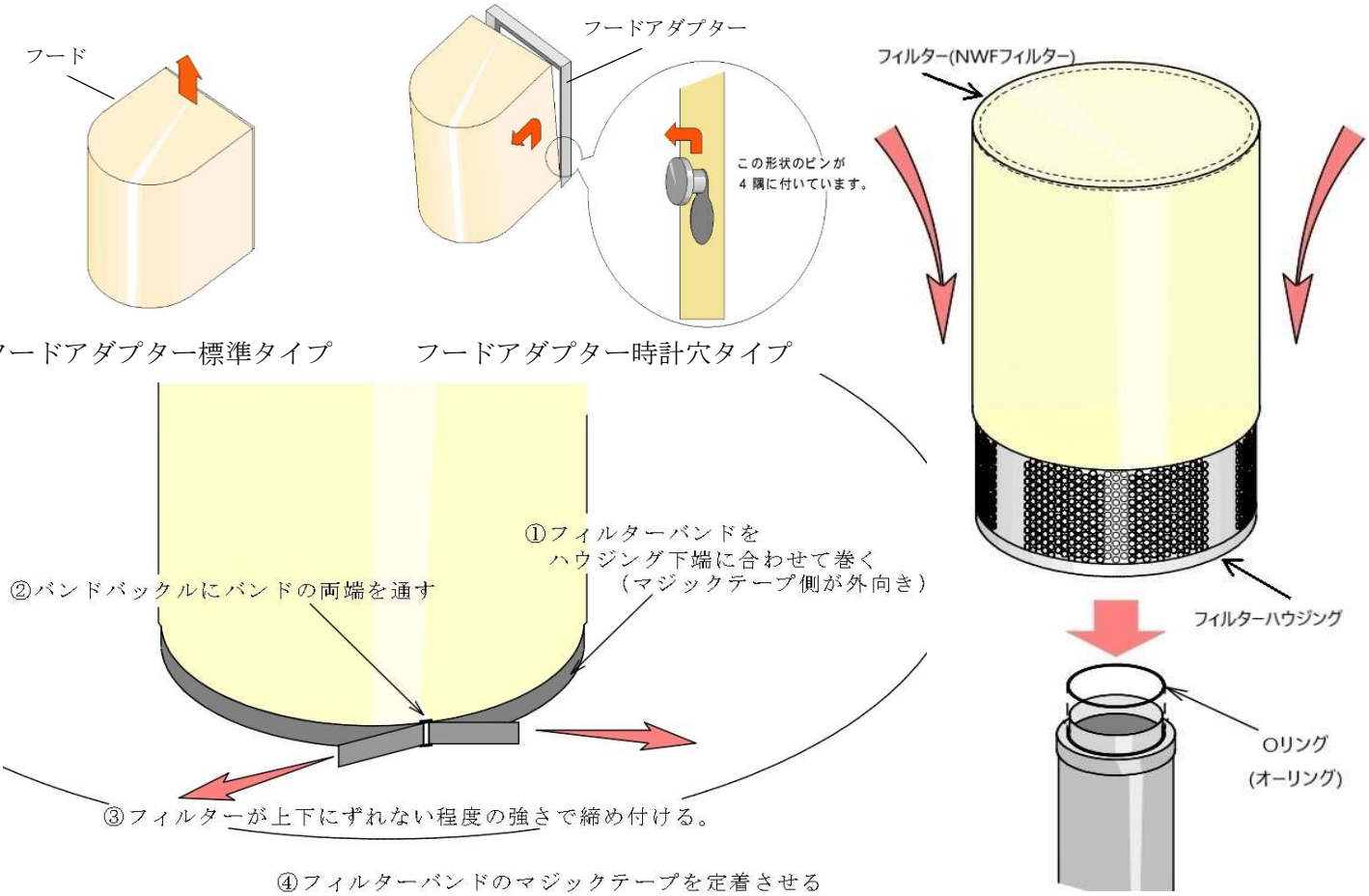
フィルターは外気をろ過して汚れますので、半年に一回程度の清掃及び点検が必要です。

2.　フィルター交換の目安

真っ黒で汚れが取れない状態は交換が必要です。　※交換目安は 3 年です。

3.　フィルター（NWF フィルター）の取り外し・清掃方法

1)　DSDD-S 本体のスイッチを切ります。
2)　フードをフードアダプター（ステンレス製の四角い枠）から上にスライドさせ取り外します。
　　または、フードアダプターがフックに引掛けてある(時計穴タイプ)の場合、上にスライドさせながら手前に引く事でカバーが外れます。
3)　フィルターハウジングをフィルターごと上方に抜き取り外します。
4)　フィルターアダプターの口をビニール袋と輪ゴム等で塞ぎます。（ゴミ等の侵入を防ぎます）
5)　フィルターバンドを外しフィルターハウジングからフィルターを外します。
6)　フィルターのクリーニングは粉塵を掃除機等で吸い取ります。必要であれば洗うことも可能です。
　　※フィルターを取り外してガソリンスタンドなどの圧搾空気で汚れを吹き飛ばすなども効果的です・
7)　洗う場合、フィルターをぬるま湯で押し洗いします。(中性洗剤)　洗ったフィルターを手で軽く絞り、タオルで水分を取り日陰で風通しの良い場所に干して乾かします。(直射日光が当たらないところ)
8)　逆の手順でフィルター・フードを元の位置に戻して、DSDD-S 本体のスイッチを入れます。



フードアダプター標準タイプ　　フードアダプター時計穴タイプ

4.　ご不明な点がございましたら施工された建築会社又はオカトミへご連絡下さい。